

もしも

に

備えましょう！



日頃から防災について心がけ、不安なところ、改善が必要なところに気付いたら、できることから少しずつ改善しましょう！

【ご近所どうして安全に】

- ☞ ご近所で防災に関することを日頃から話題にしましょう！
- ☞ 路地で安全・快適に暮らせるよう避難や建替えのルールをつくりましょう！



【道路を安全に】

- ☞ 自宅から地域の集合場所への避難経路を確認しましょう！
- ☞ 避難扉はあるか、段差はないかなど、避難が安全にできるか確認しましょう！
- ☞ バイクや植木鉢が乱雑に置かれている場合は、しっかりと整理しましょう！



【建物を安全に】

- ☞ 自宅の耐震性を確認しましょう！
- ☞ 老朽化した危険な建物が自宅周辺にないか確認しましょう！



もしも

が

起きてしまったら？



“もしも”は突然やってきます。あわてずに行動できるよう避難の手順を日頃から確認しておきましょう。

ステップ

1

まずは地域の集合場所で点呼しましょう

あわてないで



地震などが起きたら、まずは地域の集合場所に集まりましょう。逃げおくれた人がいないか近所の人の安否を確認します。

ステップ

2

状況に応じて初期消火や救出活動を行いましょう



たすけあって

火災が発生した場合は、消火器などを活用して消火を行います。逃げおくれた人がいた場合は、状況に応じて協力して助け出すなどの救助を行います。

ステップ

3

みんな一緒に朱二小学校まで移動しましょう

しんちように



防災旗を先頭に

みんなで一緒に指定避難場所（朱二小学校）まで安全を確認しながら移動します。避難場所では、災害状況についての情報収集も行います。

保存版

京都市中京区 朱雀第二学区

3

班



この「防災まちづくりマップ」は、朱二学区自主防災会を中心に、地域の方々の協力を得て、平成25年度から26年度にかけて作成したものです。災害時にあわてないように、日頃から避難の手順やルートを確認しておきましょう。





災害時には、まず「地域の集合場所」に集まりましょう。
そこで、安否確認や周辺の被災状況の確認を行います。

私の「地域の集合場所」は

です。



〔朱二学区 3班〕

西町三部、西町中部、西町西部、
松下町南部、松下町北部

凡 例

【避難所や地域の集合場所など】

- 避難所
- 地域の集合場所
- 避難所への基本ルート
(実際の災害時は、周囲の状況に応じて安全な道を通りましょう)

【緊急時のための設備など】

- 消火栓
- 防火水槽
- 防災倉庫
- AED
- 公衆電話
- 公衆トイレ
- 災害時協力井戸
- 防災器具等を
お借りできるお宅

【道路の状況】

- 幅員4.0m以上の道路
- 幅員1.8～4.0mの道路
- 幅員1.8m未満の道路
- 袋路(突き当たりが建物)
- 袋路(突き当たりが塀)
- 袋路(突き当たりがドア)
- トンネル路地

【公園や公共施設など】

- 公園
- 公共施設等
- 寺社
- 学区外
- 班界
- 町界

